

## ◆ サステナビリティ経営の推進

### 基本的な考え方

当社は企業理念を実践し、イノベーションへのチャレンジによって新しい価値をお客様や社会に提供することで成長してきました。一例を挙げると、1997年発売の「キシリトールガム」は、お菓子がむし歯の原因になるというそれまでの常識を覆し、チューインガムで歯を丈夫で健康に保つという新しい価値を提供し、さらに「むし歯のない社会へ。」という社会課題の解決にも貢献してきました。すなわち、社会課題の解決と同時に経済価値を創出するCSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)の考え方です。これからも、企業理念の実践によってCSVにチャレンジすることで、気候変動や人権問題などの現代社会が直面する課題の解決に貢献していきます。2018年には、このようなサステナビリティ経営の考え方を明文化したサステナビリティ方針を制定しました。

当社の企業理念は、ロッテグループミッションと、それを実現するために創業当時から大切にしてきた3つの価値ロッチバリューによって構成されており、全ての事業活動の中心となっています。ロッチバリューには「ユーザーオリエンテッド(お客様第一)」「オリジナリティ(独創性)」「クオリティ(最上の品質)」を掲げており、これらがCSVを実現するイノベーションへのチャレンジの原動力です。

#### ▶ ロッチグループ 企業理念体系

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/>

#### ▶ (株)ロッテ サステナビリティ方針

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/sustainability.html>

### 推進体制

当社サステナビリティ推進部の担当執行役員が責任者、同部企画課が事務局となり、関連部署やグループ会社と連携して取り組んでいます。また、サステナビリティに関する方針および戦略の策定や目標の進捗管理も同課が行っており、関連部署と連携して取り組みを推進しています。経営会議および取締役会においては、マテリアリティの特定や戦略、目標の進捗など、サステナビリティに関する重要事項について担当役員より報告を受け、承認を行っています。2023年度は、経営会議で4回(5件)、取締役会で3回(4件)報告しました。

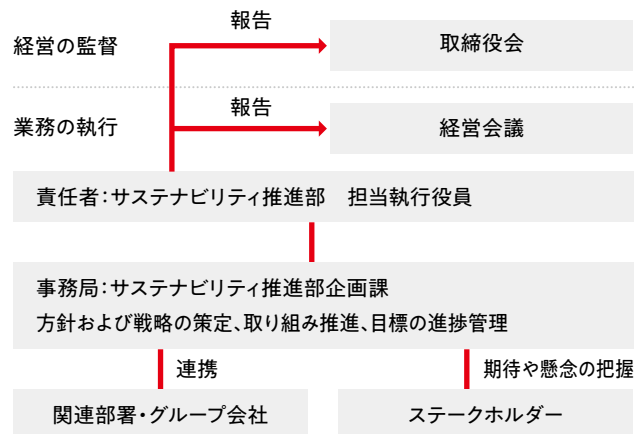
事業に重大な影響を及ぼす可能性のあるサステナビリティ関連リスク

(気候関連リスクP16参照、自然関連リスクP24参照、人権リスクP29参照)については、リスク管理委員会を中心とするリスク管理体制(P51参照)に基づいて管理しています。

情報開示についても同課が担当しており、GRI\*1やSASB\*2を参考にしながら、ステークホルダーの皆さまとの対話に資するよう開示内容の拡充に努めています。

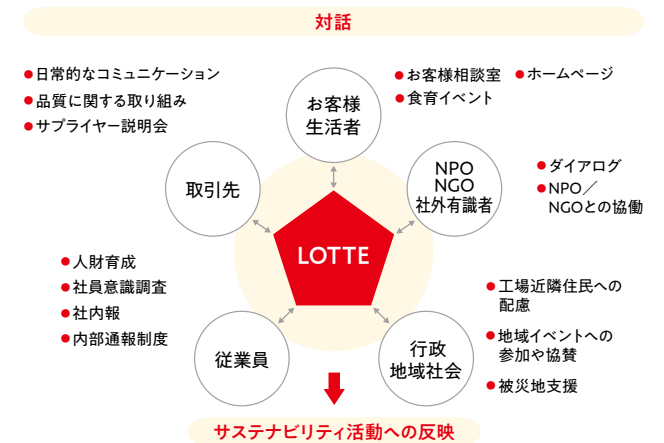
\*1 GRI: Global Reporting Initiativeの略。サステナビリティに関する国際基準の策定を行う非営利団体。

\*2 SASB: サステナビリティ会計基準審議会(Sustainability Accounting Standards Board)の略。2011年に米国サンフランシスコを拠点に設立された非営利団体で、将来的な財務インパクトが高いと想定される企業のESG要素に関する開示基準を業種別に設定している。



### ステークホルダーエンゲージメント

当社の事業活動は多様なステークホルダーとの関わりの上に成り立っています。ステークホルダーとともに持続可能な社会や地球環境を実現するため、各ステークホルダーと双方向のコミュニケーションを通じたエンゲージメントを継続的に実施しています。また、各ステークホルダーの代弁者となる社外有識者とのダイアログを毎年実施しており、いただいたご意見はマテリアリティや目標の見直し、情報開示の拡充などサステナビリティ活動へ反映しています(P12参照)。



### 従業員の教育







サステナビリティ経営を推進するためには、その担い手である従業員が考え方を十分に理解する必要があると考えています。そこで、従業員に対して様々なアプローチで教育・啓発を行っています。当社WEB社内報では、サステナビリティに関する情報をタイムリーに発信しています。さらに、人事部門が主催する各種研修の中で、サステナビリティに関する内容を組み込んでおり、新入社員、新任基幹職および新任管理職向けの研修の中でサステナビリティについて説明しています。

## ◆ サステナビリティ経営の推進

### バリューチェーンにおけるマテリアリティマッピング

当社の事業は、バリューチェーンにおいて社会に様々な影響を及ぼします。

ロット ミライチャレンジ2048にて定めた6つのマテリアリティのうち、特に重要度の高い項目をバリューチェーン上にマッピングしました。

マテリアリティ	原材料調達	操業	輸送	販売	製品の使用	製品の廃棄
 心身の健康		●		●	●	
 持続可能な調達	●					
 サーキュラーエコノミー	●	●		●	●	●
 脱炭素	●	●	●	●	●	●
 社会とつながる	●	●	●	●		
 人財		●				